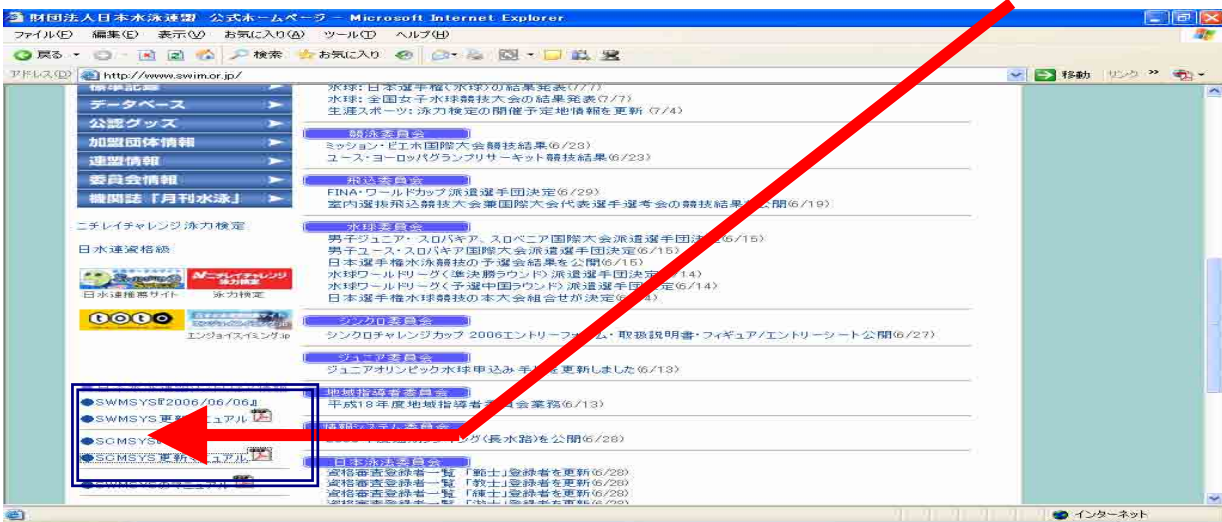


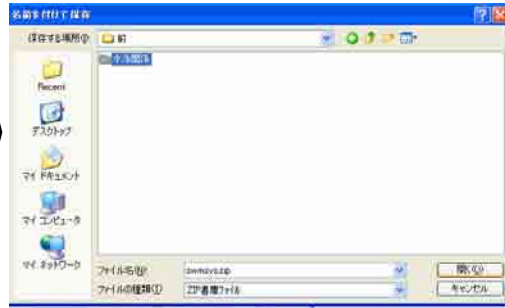
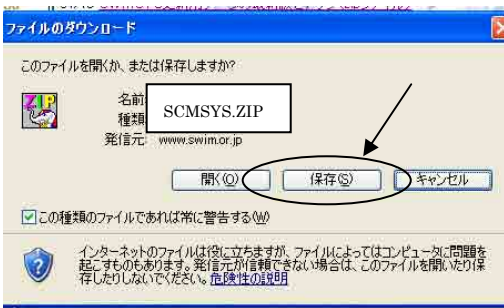
# SCMSYS-W I N更新マニュアル

日本水泳連盟(<http://www.swim.or.jp/>)のホームページ左下■日本水泳連盟ソフトウェア情報の SCMSYS をクリック



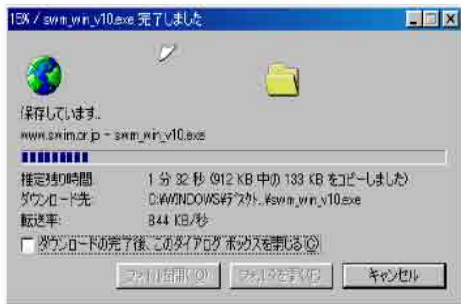
保存をクリック

デスクトップ等保存先を指定

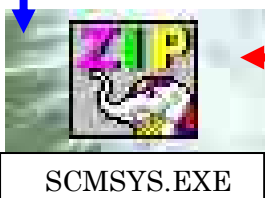


ダウンロード中です。

完了まで待ち、接続は切断してください。



ダウンロードされたファイル



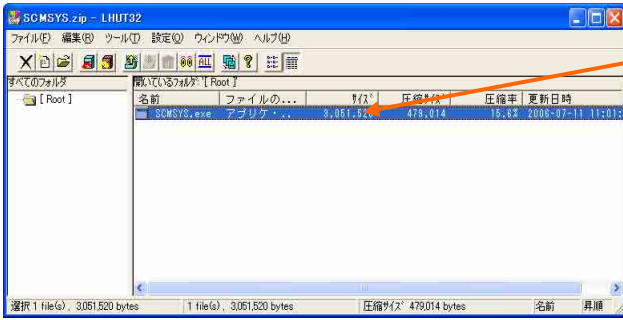
右クリックにて解凍及び書庫を解凍で、①デスクトップ等に解凍  
②SCMSYS のフォルダ内の SCMSYS.EXE をインストールした場所  
(通常は C:\¥programfiles¥jasf¥scmsys) に上書使用する。

上記が利用できない場合は下記要領にて上書使用する。

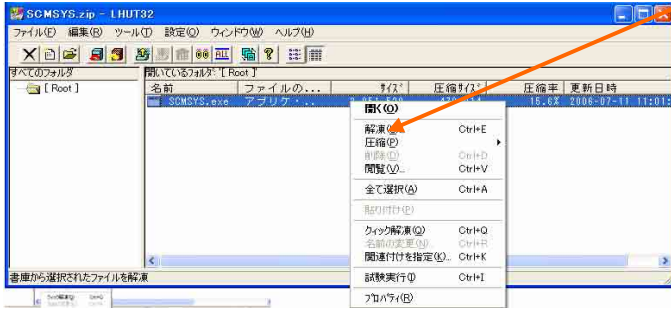
ダウンロードしたアイコンをクリックします。

※ 解凍ソフトがないと解凍されない場合があります。

※ 解凍ソフトはインターネット上の「窓の杜」等で手に入ります。( LHA ユーティリティ 3 2 使用 )



ここを右クリックしてメニューを表示する



「解凍」を選択クリックする



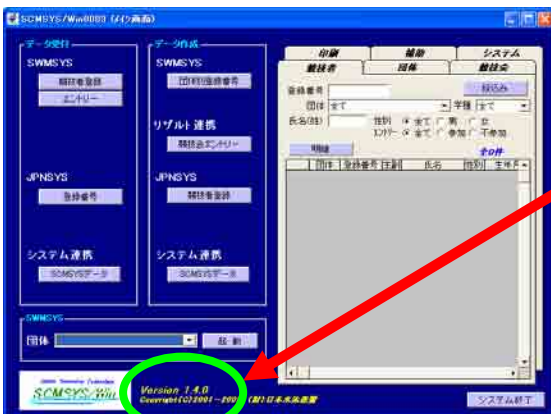
解凍先を指定して解凍します。  
 (例 C:\¥programfiles¥jasf¥scmsys)  
 ※使用環境によって変化します



同様のファイルが上書きされるため  
 ファイルの上書きを聞いてきますので  
 「はい」を選択してください。



アプリケーションソフトにもよりますが確認の  
 表示があれば更新成功です。  
 解凍ソフトを終了して確認のため SCMSYS を起動してみましょう。



ここが Version1.4.0 になっていれば成功です。

## 改版資料

### 1. Ver 1.1.0 から Ver 1.1.1

- ①飛び込みと水球の連絡責任者が逆に印字される部分を修正
- ②金額に “ , ” が印字されない部分を修正

### 2. Ver 1.1.1 から Ver 1.1.2

- ①タイムの “ . ” が印字されない部分を修正

### 3. Ver 1.1.2 から Ver 1.1.3

- ①シチズンリザルト連携用ファイルの作成

### 4. Ver 1.1.3 から Ver 1.1.4

- ①リレーデータ(SWTEAM.TXT)が読み込めない部分を修正

### 5. Ver 1.1.4 から Ver 1.1.5

- ①セイコーリザルト連携ファイルの SWTEAM.TXT を作成するときに距離コード 5(400m)を 6(800m)に変換していたところを変換しないように修正
- ②リレーエントリーを SWENT.TXT で種目コード 6(リレー)、距離コード 0(なし)にしていたが SWENT.TXT には表示せずに選手データのみを SWCOMP.TXT に表示するよう修正
- ③不正なデータ(氏名カナに全角文字が含まれているなど)を取り込まないようにし、その際にその旨を通知しログファイルに記録するよう修正
- ④大会申込フィールドに何も無い選手はリレーのみ出場する選手となるよう修正
- ⑤団体データの連絡者情報は競泳の連絡者にして取り込むよう修正
- ⑥団体、競技者登録申請書で団体名が長すぎて他の項目にかぶってしまうようなら途中で団体名をきるよう修正

### 6. Ver 1.1.5 から Ver 1.1.6

- ①印刷の距離コードの扱いのロジックを修正
- ②印刷でデータが大量にある場合のメモリー使用量を削減するよう修正

### 7. Ver 1.1.6 から Ver 1.1.7

- ①クラス分けの生年月日などの OS の違いに対応

## 8. Ver 1.1.7 から Ver 1.1.8

- ①種別の飛込と水球を逆に取り込んでいた部分を修正
- ②団体・競技者登録申請書で加盟団体番号、加盟団体を入力する欄がほしいという依頼により日付の下に手書きする欄を追加
- ③クラスが種目、距離ごとに分かれていた場合の集計に誤りがあり、正常に集計結果が出るように修正

## 9. Ver 1.1.8 から Ver 1.1.9

- ①団体種別の順序が SWMSYS と異なっている部分を SWMSYS と同様になるよう修正
- ②Dos 版 SWMSYS のデータ取り込み時にリレーの電光カナ名が入らない部分を修正
- ③SCMSYS 連携でのリレーデータ作成
- ④リザルトシステム SCMSYS 版のバックアップデータ作成で FD 以外にバックアップ先を選択した場合バックアップができない部分を修正

## 10. Ver 1.1.9 から Ver 1.2.0

- ①バックアップ、リストアで壊れた MDB を復元するなどして、SCMSYS の MDB が壊れてしまうことが無いよう修正
- ②学種 7(専修学校)、8(各種学校)を追加
- ③リレーチームの所属団体が存在しない時に所属 001 に、存在しないときは 000 になるよう修正
- ④システム領域にクリスタルレポートにアクセスするのに必要な DLL を追加
- ⑤クリスタルレポートの印刷エクスポートに必要な DLL を追加
- ⑥団体データが大量にある場合に 1 枚ずつ FD を作成しなければならないので一括出力ボタンを作成
- ⑦連絡責任者の郵便番号、住所、電話番号が必須項目となるよう修正
- ⑨記録証システムの印刷部分の不具合を修正

## 11. Ver 1.2.0 から Ver 1.2.1

- ①クラス分けの 400m の距離コードを修正

## 12. Ver 1.2.1 から Ver 1.2.2

- ①SCMSYS 内の SWMSYS を修正

## 13. Ver 1.2.2 から Ver 1.2.3

- ①再度クラス分けの 400m の距離コードを修正

## 14. Ver 1.2.3 から Ver 1.2.4

- ①パソコン日付が 1/1～4/1 のときの学年一括更新での不具合を修正
- ②システムタブ内のバックアップファイル名と復元ファイル名の間違いを修正

## 15. Ver 1.2.4 から Ver 1.2.5

- ①リザルトシステム用 SWEnt.txt 作成時に競技者判別方法を団体+氏名から氏名+性別+生年月日に修正

## 16. Ver 1.2.5 から Ver 1.2.6

- ①リザルトシステム用 SWEnt.txt 作成時のクラス割り付けの距離コードを修正

## 17. Ver 1.2.6 から Ver 1.2.7

- ①競技会参加集計表印刷の際のメモリー使用量を削減するよう修正

## 18. Ver 1.2.7 から Ver 1.2.8

- ①大会データ集計で種目、距離が設定されていないときに集計されるよう修正
- ②競技者登録、エントリー取り込み時に団体略称が表示されるよう修正

## 19. Ver 1.2.8 から Ver 1.2.9

- ①SWMSYS からの競技者登録受付で氏名に数値が入っていたら取り込まないよう修正

## 20. Ver 1.2.9 から Ver 1.3.0

- ①CITIZEN-Result 用エントリーデータのクラスコード無し時のクラスを修正
- ②団体・競技者登録申請書の団体が団体番号順に印刷されるよう修正

## 21. Ver 1.3.0 から Ver 1.3.1

- ①CITIZEN-Result 用エントリーデータのリレーファイルを修正
- ②データ出力、取込時にフォルダを指定できるよう修正
- ③SWMSYS 競技者データ取込時に競技者登録日が取込み時の日付になるよう修正

## 22. Ver 1.3.1 から Ver 1.3.2

- ①Win98 で SCM 連携ファイルが作成出来ない不具合を修正

## 23. Ver 1.3.2 から Ver 1.3.3

- ①印刷物を CSV ファイルに出力する機能を追加
- ②WinXP など補助機能のラベルが黒くなってしまう現象を修正
- ③記録証システムの種目欄のずれを修正

### 使用方法

記録証システムは SCMSYS フォルダの中の記録証フォルダに上書きしてください。

(通常、C:\Program Files\JASF\SCMSYS\記録証¥)

## 24. Ver 1.3.3 から Ver 1.3.4

- ①リザルトシステムデータ作成でリレーのクラスコードが付加されない不具合を修正

## 25. Ver 1.3.4 から Ver 1.3.5

- ①CITIZEN-Result 連携の登録番号を修正

## 26. Ver 1.3.5 から Ver 1.3.6

- ①SCM 競泳 V4 を修正

## 27. Ver 1.3.6 から Ver 1.3.7

- ①SCMSYS 起動時に『個人情報保護法に基づく公表』画面を表示するように修正

## 28. Ver 1.3.7 から Ver 1.3.8

- ①SCMSYS 内の SWMSYS (団体・英字入力対応) を修正

## 29. Ver 1.3.8 から Ver 1.3.9

- ①SCM 連携ファイル取込で SWMSYS のバージョン文字列の長さを考慮せずに取り込んでいた問題を修正

## 30. Ver 1.3.9 から Ver 1.4.0

- ①CITIZEN-Result 連携作成時、団体番号の英文字対応